



## — 21世紀の健康づくり —

### 「まめで達者でもりもり元気な岩泉」の実現

私たちが、「健康」であることは、すべての基本となるものであります。

岩泉町におきましては、この基本理念のもと、平成20年3月に「健康いわずみ21」計画を策定し、「一人ひとりの健康を実現し、より豊かな活力ある地域社会を築く」という考えのもとに、まめで達者で「岩泉で暮らしたい・岩泉に生まれてよかった」と思える町づくりを目指して、町民の健康づくりの推進に務めることを掲げました。

そして、今まで6年にわたり健康づくりの行動計画を実践してまいりました。その結果、計画の総合評価におきまして、歯の健康、タバコ、アルコールについては良好な結果が出ておりますが、全体ではB評価となっております。そこで、平成25年度には「健康づくりネットワーク事業」の再構築を図り、取り組みを強化してまいりました。

一方では平成24年に岩泉町が脳血管疾患死亡率県内第1位という不名誉な結果が発表されました。少子高齢化がさらに進展する見込みの中、ワーストワンからの脱却に向け、さらなる健康づくりの推進を図るため「第二次健康いわずみ21プラン」を策定いたしました。

過去6年間は、「健康になるための考え方」の普及期間と捉え、今計画におきましては、「健康生活のための実践」を強めていくことが重要となります。そのために、町として町民、関係機関の方々への働きかけを中心とした行動計画を策定し、これを核として、健康づくりを自主的に実践する町民の拡大に努めてまいりたいと考えております。

この計画は全ての町民が、自らの健康づくりを実践するためにご活用いただき、さらに保健医療、体育・運動、高齢者・福祉、学校、公民館、産業関係者が町民の健康づくりを支援するための共通の行動指針として、ご利用いただきたいと考えております。

本計画の改定にあたりましては、健康づくり推進協議会でご審議いただき、ご意見・ご提言をいただきました。貴重なご意見ご提言をいただきました関係各位に対し深く感謝申し上げますとともに「まめで達者でもりもり元気な岩泉」の実現に向けて、町民各位のご協力と参画をお願い申し上げます。

平成27年3月

伊藤 隆 年